

# コムハウス&ねくすと通信

2023年 1月 13日

コムハウス・ねくすと発行

No. 1180

早いもので松の内も過ぎ、平常の生活が戻ってきました。先日、お正月の締めの行事ともいえる「三九郎」に参加しました。三九郎と呼ぶのは長野県の中信地方だけとの事で地域によって呼び方も様々なようですね。天高く燃え上がる炎を見つめ年神様を天へ見送るとともに、1年間の無病息災を願いながら繭玉を焼いて食べました。沢山の子供達が柳の木の枝に色とりどりの繭玉やマシュマロをつけて楽しげに焼いている姿が印象的でした。

少子化やコロナ禍の影響もあり三九郎の規模縮小、中止となる地域もあったようです。日本ならではの伝統行事が子供達へと受け継がれこの先も続いていく事を願うばかりです。2023年も年中行事を通じ四季の移り変わりや季節感を大切に過ごしていきたいと思います。

(すまいる班 百瀬)

すまいる班

新年明け、1週間以上経ちますか。皆さんお正月気分は抜けましたか？

今週すまいる班では、2グループに分かれ、「福笑い」を行ない、樂みました。1人1枚顔のパツを担当し、頑張って並んで行きました。出来上がりを見ると、おもしろかったのか、ほかまの笑顔がたくさん見られました。

こもれび班

休め明け皆笑顔  
に楽しい雰囲気で  
お仕事・ストレッチ・  
歩行頑張ります  
寒さを元気でふきとは  
しましょう!!

ねくすと

今週のねくすとは11日に初詣、新年会がありました。深志神社で「お詣りして、梅風閣で」と、贅沢なランチを楽しめました。なかまもナイフとフォークを使って上手に食べていました。

午後は書を始め、カルタ、トランプとみんなで盛り上がりました。